

訓練実施結果概要

訓練目的	横浜市、防災関係機関、市民、企業、NPO等との協働による総合的な訓練を、実災害において使用する学校や地域の施設等で実施することにより、発災時における迅速・的確な初動活動と、相互の連携体制を強めるとともに、市民防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図る。
日時	①平成21年8月30日（日） 9:00～12:00 ②平成21年9月 1日（火） 8:00～12:00 ③平成21年9月 5日（土） 9:00～12:00 ④平成21年9月17日（木） 14:00～16:00
会場	① 庄戸地区公道、住友電気工業株式会社横浜製作所 ② 横浜市役所、大さん橋ふ頭 ③ 栄区内各所（笠間小学校、桂台中学校、上郷小学校、上郷中学校、栄区役所） ④ 栄スポーツセンター
規模	参加機関(団体) 50機関、参加人員5,600名
想定地震	南関東地域(相模湾)を震源とするマグニチュード7.9、市内最大震度7の地震が発生し、特に栄区内の被害は甚大で家屋の倒壊や道路の損害をはじめ、電気・ガス・水道等のライフラインにも大きな被害が発生している。また、各所で火災が発生し、多数の死傷者が出ている。
訓練項目	1 平成21年8月30日（日） (1) 庄戸地区公道における訓練 ア 検問所設置 イ 緊急通行車両申請受付 ウ 倒木の切断、除去、運搬 エ 事故車両からの救出 オ 事故車両の撤去 カ バス車内の避難誘導 他 (2) 住友電気工業株式会社横浜製作所における訓練 ア 情報収集 イ 初期消火 ウ 高所、地上部からの被災者救出 エ トリアージ訓練 他 2 平成21年9月1日（火）

	<p>(1) 横浜市役所における訓練 ア 情報受伝達訓練 イ 市本部審議訓練 他</p> <p>(2) 大さん橋ふ頭における訓練 川崎市と連携した帰宅困難者対策訓練</p> <p>3 平成21年9月5日（土）栄区内各所における訓練 広報・誘導訓練 地域防災（医療救護）拠点開設・運営訓練 応急救護訓練 情報受伝達訓練 防災資機材取扱訓練 救援物資受入・配布訓練 炊き出し訓練 区災害ボランティアセンター開設・運営訓練 防災展示コーナー 応急給水訓練 特別避難場所開設訓練 避難所体験・支援訓練 学校防災訓練 倒壊建物からの救出・救助訓練 区災害対策本部運営訓練 他</p> <p>4 平成21年9月17日（木） 多数遺体取扱訓練</p>
<p>訓練の特徴</p>	<p><u>1 住民主体の防災訓練の実施</u> 栄区では、5月に住民や防災関係機関を中心として立ち上げた「訓練運営委員会」が立案した訓練を、実際に地域住民が震災時に避難生活をする地域防災拠点を使用し実施した。</p> <p><u>2 実災害に即した訓練の実施</u> 住友電気工業株式会社横浜製作所では、既存の施設を活用し、住友電気工業株式会社自衛消防隊や栄消防団による避難誘導、消火訓練や、消防、警察、自衛隊による救出救助訓練、日本赤十字や国立病院機構横浜医療センター（YMAT）によるトリアージ、応急救護訓練などの実戦的な訓練を実施した。</p>

参加機関	<p>八都県市広域応援協定自治体 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、千葉市、さいたま市 陸上自衛隊第31普通科連隊、神奈川県警察本部、栄警察署</p> <p>指定公共機関 (株)NTT東日本神奈川設備部、(株)NTTドコモ神奈川支店、東京電力(株)藤沢支社、日本赤十字社神奈川県支部、東京ガス(株)横浜支店</p> <p>指定地方公共機関 (社)横浜市医師会・栄区医師会、(社)横浜市歯科医師会・栄区歯科医師会、(社)横浜市薬剤師会・栄区薬剤師会、(社)神奈川県トラック協会</p> <p>協定機関 (社)横浜建設業協会(横浜建設業防災作業隊栄方面班)、(社)神奈川建設重機協同組合(災害救助隊)、(社)神奈川県エルピーガス協会、神奈川中央交通株式会社、横浜市アマチュア無線非常通信協力会、日本通運株式会社横浜支店、富士シティオ(株)、生活協同組合コープかながわ、加工食品部劉焮、金港物産(株)本社、災害ボランティアバイクネットワーク関東神奈川支部、全日本冠婚葬祭互助協会</p> <p>市民参加組織等 栄区防災訓練運営委員会、笠間小学校地域防災拠点運営委員会、桂台中学校地域防災拠点運営委員会、上郷小学校・上郷中学校地域防災拠点運営委員会、栄消防団、NPO法人救助犬訓練士協会、NPO法人神奈川救助犬ネットワーク、桂台地域ケアプラザ、横浜栄・防災ボランティアネットワーク、栄区社会福祉協議会、サポートセンター「径」、訪問の家「朋」、本郷特別支援学校</p> <p>企業・団体等 住友電気工業株式会社横浜製作所、国立病院機構横浜医療センター、(財)横浜市体育協会(栄スポーツセンター)</p> <p>学校 笠間小学校、桂台中学校、上郷小学校、上郷中学校</p> <p>横浜市</p>
------	---

<p>訓練の成果</p>	<p>横浜市では、地域住民が訓練に参加しやすい環境作りに配慮し、8月30日（日）と9月5日（土）に栄区内で実施された訓練は、平日では参加が難しいと思われる年齢層の参加が多く見受けられた。</p> <p>「公助」の充実強化として、庄戸地区公道では、横浜建設業協会、神奈川建設重機共同組合、神奈川中央交通(株)、栄警察署等において緊急交通路確保・道路啓開訓練を実施し、住友電気工業株式会社横浜製作所では、自衛消防隊、消防団、救助犬、警察、自衛隊、消防、日赤医療班、横浜救急医療チームなどが参加した救出救助訓練を実施し、防災関係機関の連携強化が図られた。</p> <p>「自助・共助」の充実として、今年度も継続して地域分散型訓練を実施し、4つの地域防災拠点において、地域防災拠点運営委員会と学校が連携をした自主的な訓練を実施した。</p> <p>それぞれの地域で特徴ある訓練としては、地域医療救護拠点の開設・運営、要援護者対策、避難所体験、災害ボランティアセンター開設訓練などが行われた。</p>
<p>八都県市以外の 広域応援</p>	<p>なし</p>
<p>今後の課題</p>	<p>次年度以降も、実災害に即した訓練を継続して実施し、公助の充実強化を図るとともに、住民主体の自主的な訓練とするため地域分散型訓練を継続することにより、それぞれの地域ニーズを反映した、より実践的で効果的な訓練を実施し、「自助・共助」力の一層のアップを目指す必要がある。</p>